

市町村名	浦添市
------	-----

平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-	那覇港総合物流センター整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(4)-ア
担当部課名	企画部西海岸開発局西海岸開発課	事業実施(予定)年度 平成25～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	臨空・臨港型産業の集積による国際物流拠点の形成 -1-(3)

事業内容
本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、県全体の高度化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

		25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	-	11,310	-	151,300	-
	(b)予算現額	-	11,310	-	151,300	-
	(c)増減額(b-a)	-	0	-	0	-
	(d)繰越額	3,885	-	8,110	-	101,474
	A.計(b+d)	3,885	11,310	8,110	151,300	101,474
	B.執行済額	3,885	3,200	8,082	49,826	101,474
	うち交付金充当額	3,108	2,560	6,465	39,860	81,180
	次年度繰越額	-	8,110	-	101,474	-
	執行率(%) (B/A)	100.0%	28.3%	99.7%	32.9%	100.0%
予算の状況の説明	・地盤改良の工法変更に伴い、構造計算等の再検討が必要になったことから、実施設計の完了に不測の日数を要したため繰越となった。 ・平成27年度予算においては、計画通り執行できた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
		総合物流センター基礎工事の着手	目標 (基本設計の実施)	(実施設計の実施)	(基礎工事の着手)
	実績	基本設計の実施	実施設計の実施	基礎工事の着手	
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	・活動目標通り総合物流センターの基礎工事を含む建築工事に着手した。 ・引き続き、平成30年度の供用開始に向け鋭意取り組みを進める。				

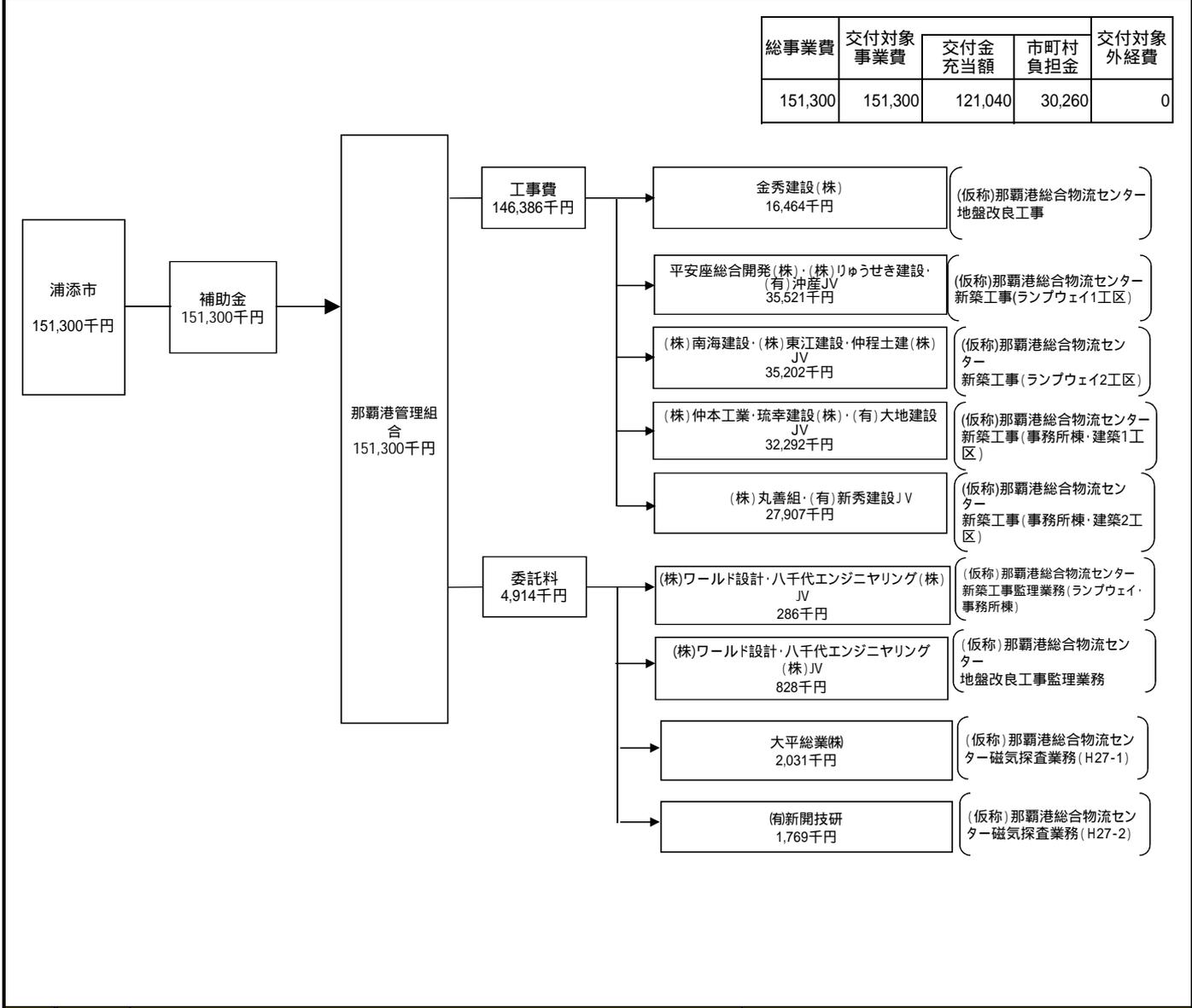
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
		地盤改良及びランプウェイ基礎工の完了	目標 ()	(基本設計業務の完了)	(実施設計業務の完了)	(基礎工事の完了)	()
		実績		基本設計業務の完了	実施設計業務の実施	基礎工事の完了	
[参考指標] 沖縄21世紀ビジョン実施計画P162 那覇港の取扱貨物量	目標	1,004万トン(23年)	1,950万トン(28年)	2,840万トン(33年)	()	()	
進捗状況説明	地盤改良の工法変更に伴い、構造計算等の再検討に不測の時間を要したため工事の発注に遅れを生じたが、成果目標通り基礎工事を完了することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	・地中に仮護岸の被覆石と思われる岩塊が広範囲に確認されたため、地盤改良及び杭工事に先立ち、当該岩塊の破砕を行うことが必要となった。 ・今後の物流センター本体工事等の工程に遅れが生じないよう、十分な工程管理を行う必要がある。	地中の岩塊の存在等、当初想定していなかった問題点に対し適切な対策を行う事により、工程に遅れが生じないよう取り組みを行う。

今後の取り組み方針

物流センター本体工事の発注を行ったことから、今後十分な工程管理を行い、平成30年の整備完了に向け鋭意取り組みを進める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)



資金の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・一般競争入札の最低価格業者と契約を結んでいることから、支出先の選定方法は妥当であると考え。 ・設計時において複数の工法から最も経済的な工法を選択していることから、予算規模は事業内容に見合っていると考える。 ・費目・使途については、関連書類を確認し、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

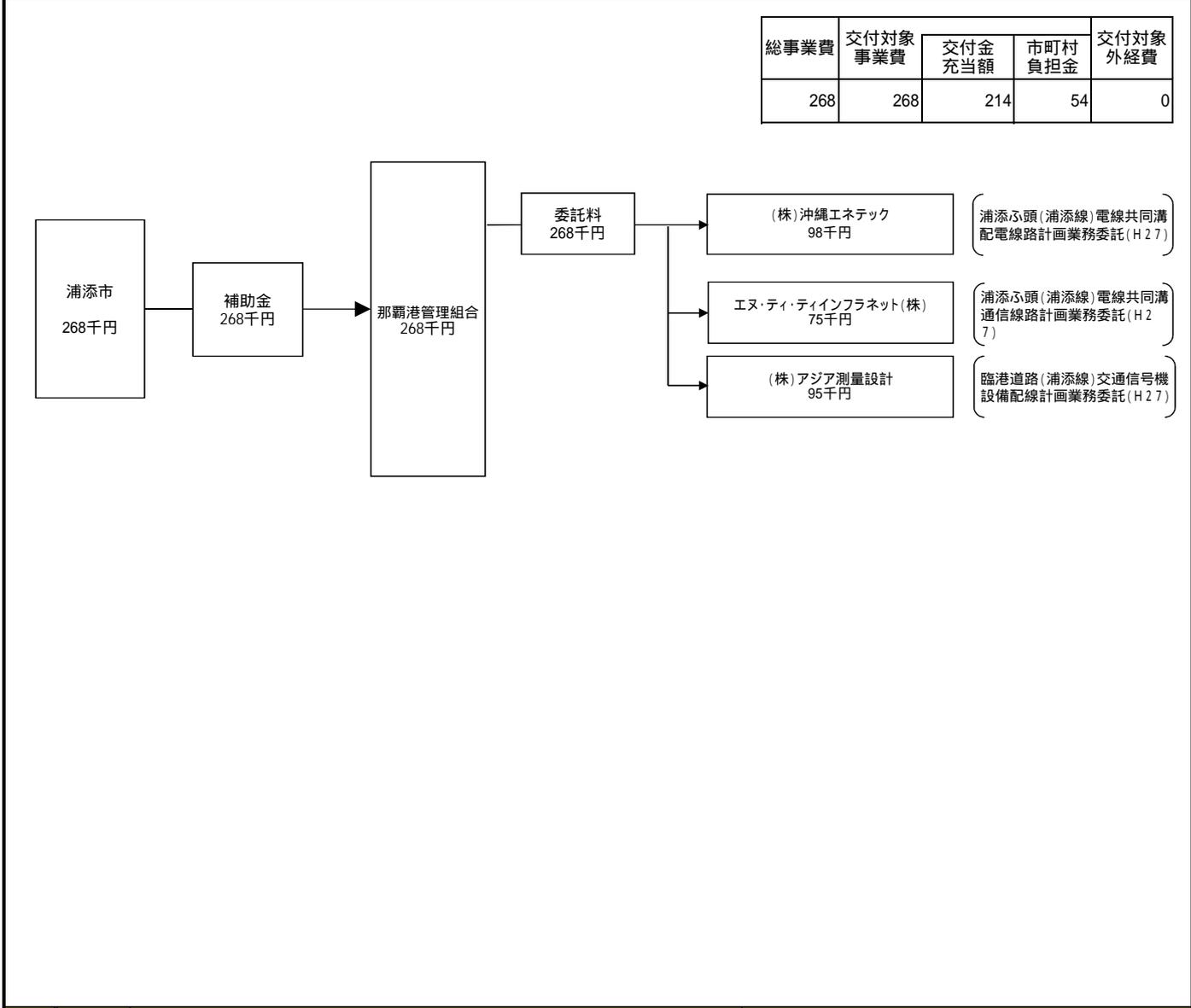
市町村名		浦添市					
平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6- 臨港道路浦添線無電柱化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(1)-イ		
	企画部西海岸開発局西海岸開発課		事業実施(予定)年度 平成27～28年度		人流・物流を支える港湾の整備		
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(3)		
事業内容	那覇港浦添ふ頭地区の臨港道路浦添線において、観光立県沖縄のウォーターフロント景観の向上及び災害に強い安心安全な港まちづくりに向けて、無電柱化を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a)当初予算額	1,000	-			
		(b)予算現額	1,000	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	1,000			
		A.計(b+d)	1,000	1,000			
	B.執行済額		0	268			
	うち交付金充当額		0	214			
	次年度繰越額		1,000	-			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	26.8%			
予算の状況の説明		電線管理者との協定締結に係る調整に不測の日数を要したことから、実施設計業務の着手に遅れが生じたため、年度内完了が困難となり繰越となった。 管路敷設に係る実施設計は別スキームで実施したため、配線計画に係る設計のみとなったための不用である。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	臨港道路浦添線整備における無電柱化事業の着手	目標	(無電柱化事業の着手)	()	()	()	
		実績	無電柱化事業の着手				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	活動目標通り無電柱化事業を着手した。 無電柱化事業を実施することにより、観光立県沖縄のウォーターフロント景観の向上及び災害に強い安心安全な港まちづくりを図る。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	実施設計の完了	目標	()	(実施設計の完了)	()	()	()
		実績		設計(配線計画)の完了			
進捗状況説明	本事業は要請者負担方式で実施することから、電線管理者との協定締結に不測の日数を要したが、配線計画に係る設計を完了することができた。 また、管路に係る実施設計については、別スキームにおいて実施済となっているため、配線計画に係る設計のみの完了となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・電線管理者との協定締結に係る調整に不測の日数を要したことから、設計業務の着手に遅れが生じた。 ・平成31年夏頃に大型商業施設が開業する予定であり、早期に整備する必要がある。 ・臨港道路浦添線は直轄事業で整備しており、工事工程について国と密に調整していく必要がある。	・国や電線管理者と情報共有及び密な調整を行い、徹底した工程管理を行う必要がある。 ・本事業箇所は、未供用路線であり支障となる占用物件がないこと及び需要家への引込設備の敷設が少ないことから、工期の短縮に努める。

今後の取り組み方針

関係機関との情報共有及び密な調整を行い、スケジュールに想定外の事項が生じないか入念に確認し、作業状況及び現場状況等の把握に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・複数業者からの見積りにより、最低価格業者と契約を結んでいることから、支出先の選定方法は妥当であると考えられる。(少額随契) ・当初計上していた実施設計を別スキームで行うこととなったため不用額が発生した。 ・費目、用途については、関連書類を確認し、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		